

# 2024年9月期 第3四半期 決算補足説明資料

ティアンドエスグループ株式会社

(東証グロース 4055)

2024.10.15



**T & S**  
Technology & Service

|           |       |
|-----------|-------|
| ハイライト     | p. 3  |
| 決算概要      | p. 4  |
| 営業利益の状況   | p. 6  |
| カテゴリー別売上高 | p. 7  |
| 取引先別売上高   | p. 8  |
| 主要取引先動向   | p. 9  |
| エンジニアの状況  | p. 10 |
| 損益計算書     | p. 11 |
| 貸借対照表     | p. 12 |
| トピックス     | p. 13 |
| 業績予想進捗率   | p. 15 |
| 株主還元      | p. 17 |

## (今期のテーマ) 次のステージへ

### 1 四半期売上高、営業利益が過去最高を更新

- ▶ 3Q会計期間、3Q累計期間いずれも過去最高

|      | 前3Q会計期間(非連結 単体) | 当3Q会計期間(連結)     | 当3Q累計期間(連結) |
|------|-----------------|-----------------|-------------|
| 売上高  | 8億 12百万円        | 8億73百万円(+61百万円) | 26億 44百万円   |
| 営業利益 | 1億 44百万円        | 1億49百万円(+ 5百万円) | 4億 61百万円    |

### 2 DXソリューションとAIソリューションが順調に推移

- ▶ DXソリューションカテゴリーの売上高は前年同四半期比**16.4%増**。  
日立グループをはじめ既存取引先からの受注が順調に推移したことに加え、新規取引先からの受注が寄与した。
- ▶ AIソリューションカテゴリーの売上高は前年同四半期比**10.3%増**。  
新規取引先からの受注が寄与し順調に推移した。
- ▶ 半導体ソリューションカテゴリーの売上高は前年同四半期比**13.7%減**。  
各社の生産調整は終了し、当社グループの受注高も増加しているが、本格的な売上計上は来月以降となる見通し。

### 3 エクステージ株の株式取得(子会社化)に向けてMOU締結

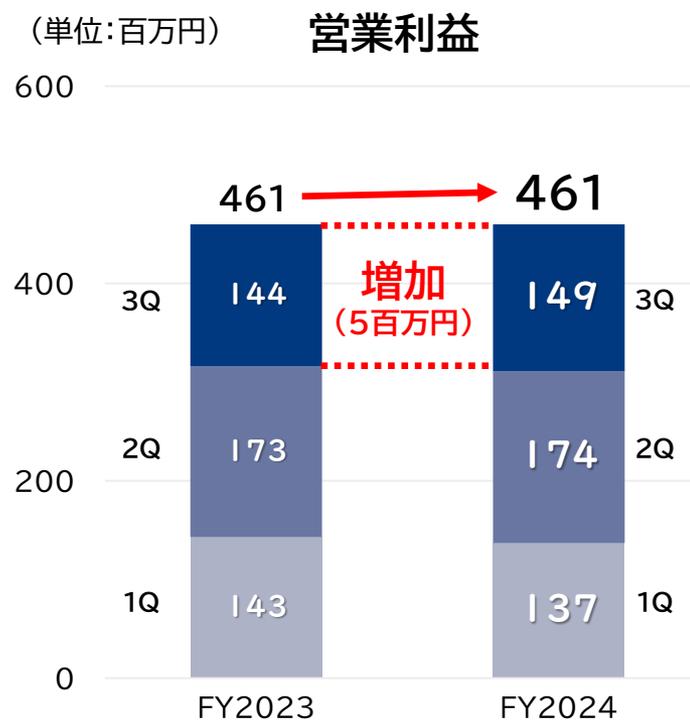
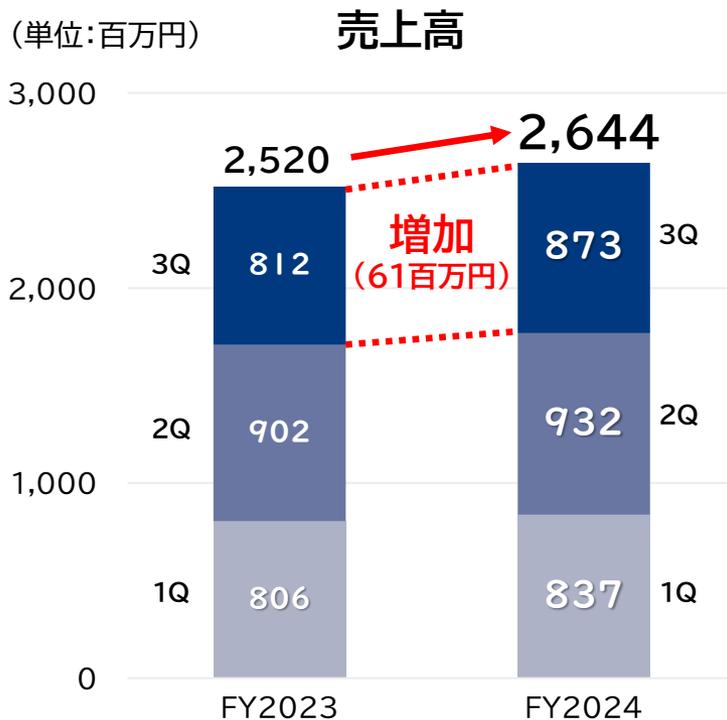
- ▶ エクステージ社(埼玉県久喜市)の株式を取得し、ティアンドエスグループの子会社としてグループインに向けた交渉を開始。
- ▶ 同社とは半導体分野でのシステム開発に関する協業を進めており、同分野を中心に、リソースの拡充とビジネス機会の拡大を図る。

# 決算概要

2024年9月期 第3四半期

## 過去最高収益を継続 (過去同四半期比) 売上高・営業利益とも過去最高を更新

|        |   |     |       |
|--------|---|-----|-------|
| 売上高    | : | 26億 | 44百万円 |
| 営業利益   | : | 4億  | 61百万円 |
| 経常利益   | : | 4億  | 61百万円 |
| 四半期純利益 | : | 3億  | 17百万円 |

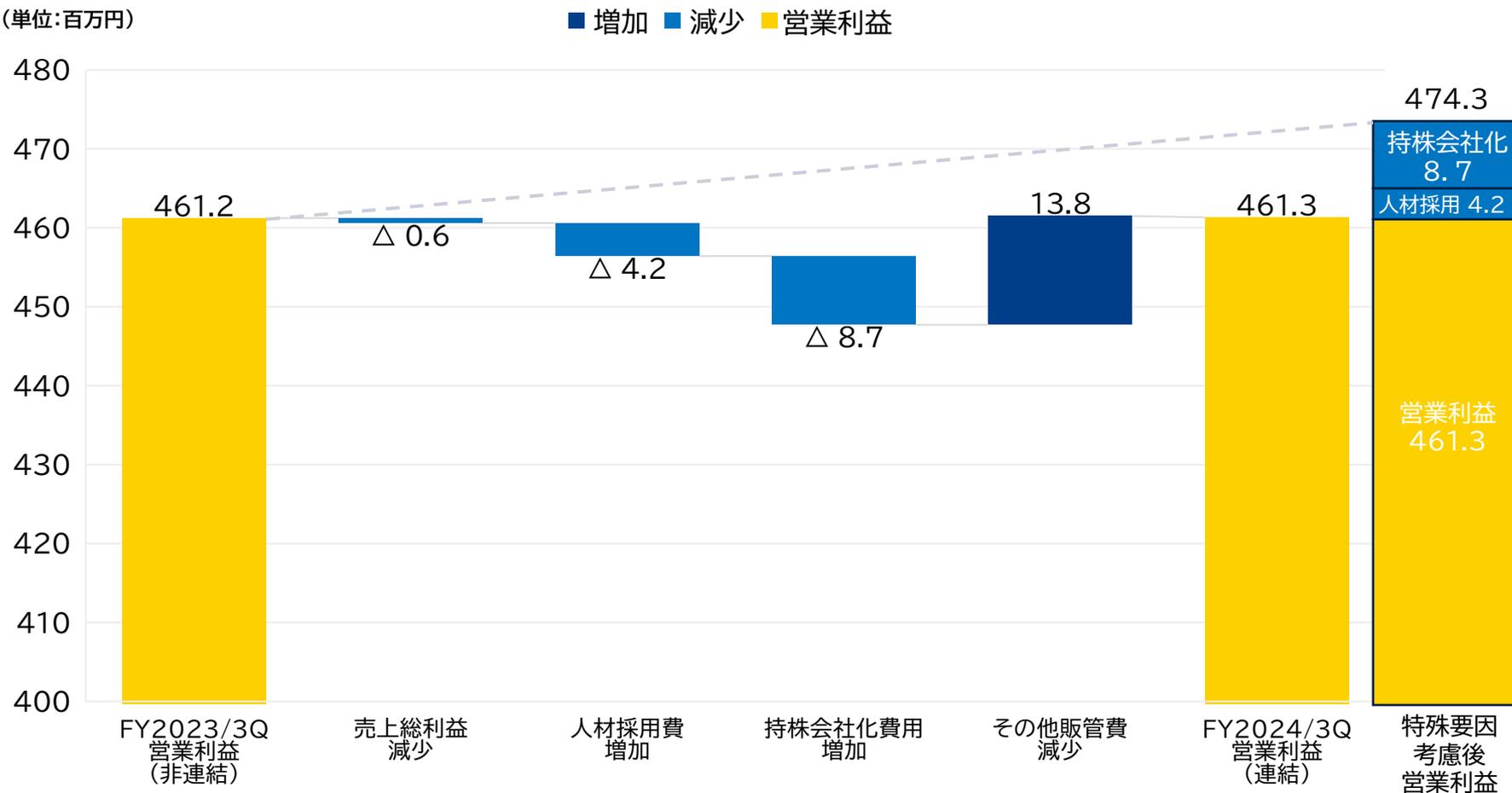


(注) 2024年9月期 第3四半期より連結決算に移行しております。  
 2023年11月期は非連結の実績を記載しています。

# 営業利益の状況( FY2024/3Q )

人材採用投資と持株会社化の先行投資  
特殊要因考慮後の営業利益は**実質2.9%の増益**

(単位:百万円)



(注) 2024年9月期 第3四半期より連結決算に移行しております。  
2023年11月期は非連結の実績を記載しています。

# カテゴリー別売上高( FY2024/3Q )

DXソリューションは**16.4%増加**で順調に推移

(前年同四半期比)

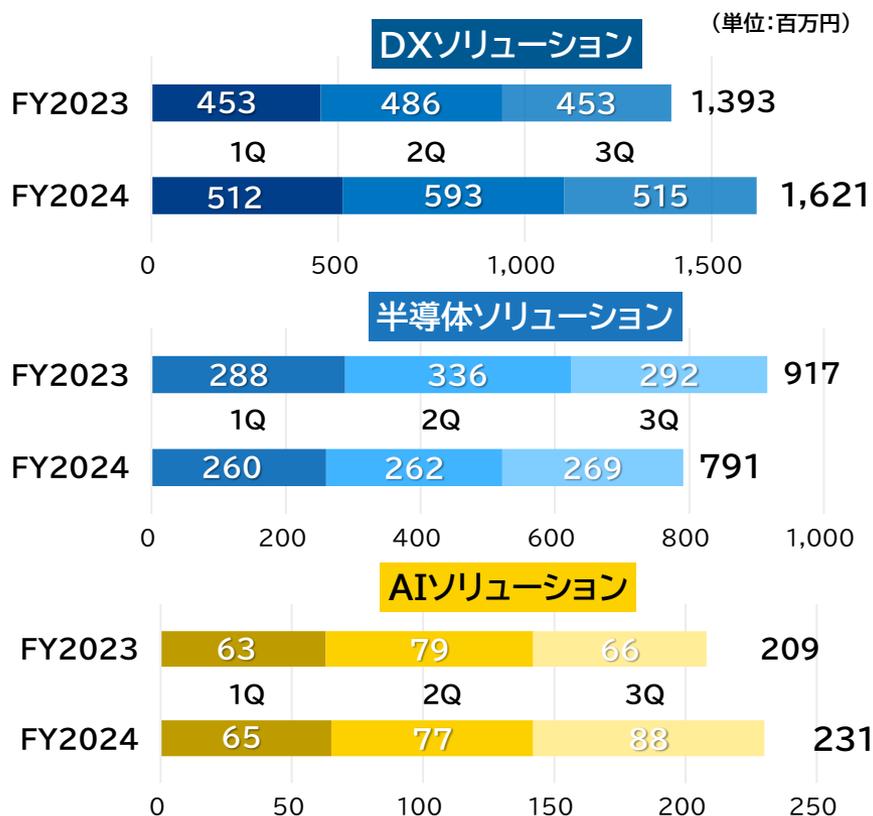
AIソリューションも**10.3%増加**

(前年同四半期比)

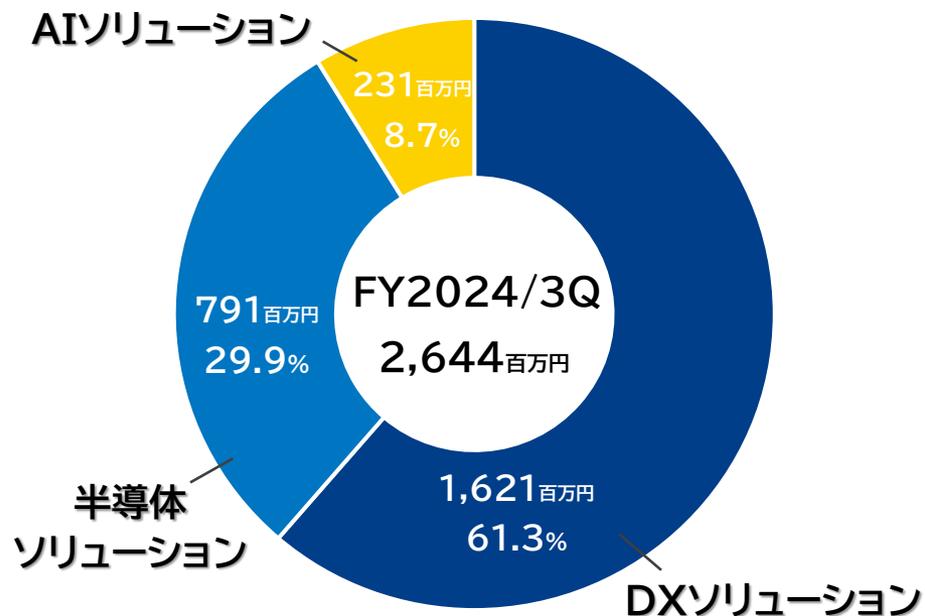
半導体ソリューションは**13.7%の減少**

(前年同四半期比)

## 売上高(カテゴリー別)



## 売上比率(カテゴリー別)



(注) 当社グループの事業セグメントは単一セグメントです。売上高のみカテゴリー別に集計しております。当期よりカテゴリー区分を変更しております。前年度比較については、前年の非連結実績を新カテゴリー区分で再集計し比較しています。  
2024年9月期 第3四半期より連結決算に移行しております。  
2023年11月期及び2024年9月期の第1四半期並びに第2四半期は非連結の実績を記載しています。

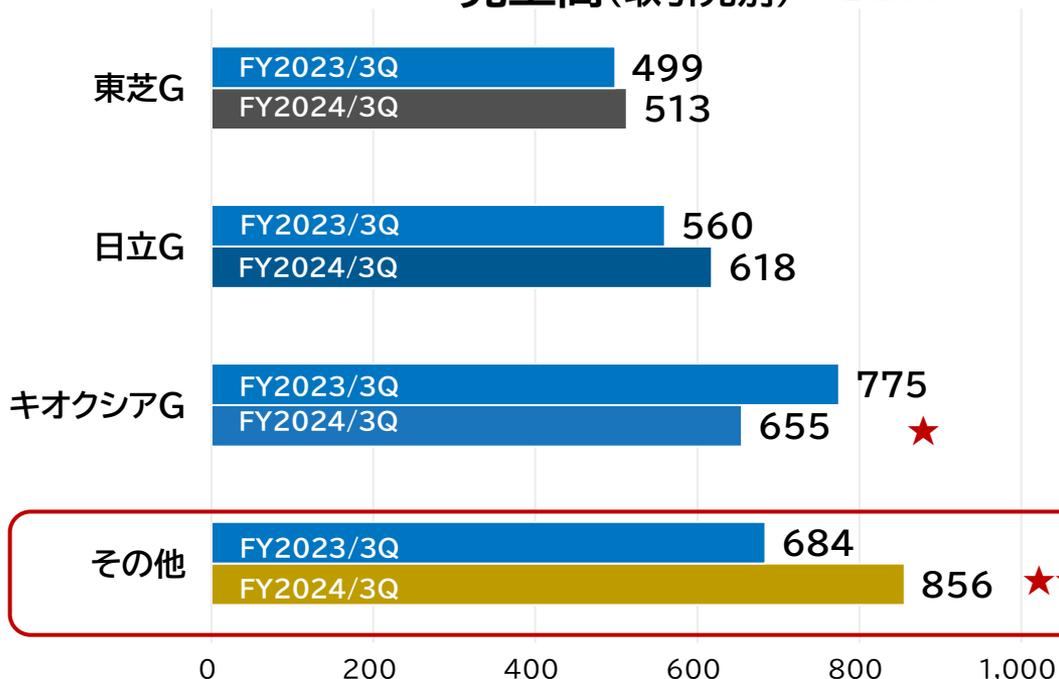
# 取引先別売上高( FY2024/3Q )

東芝Gが復調

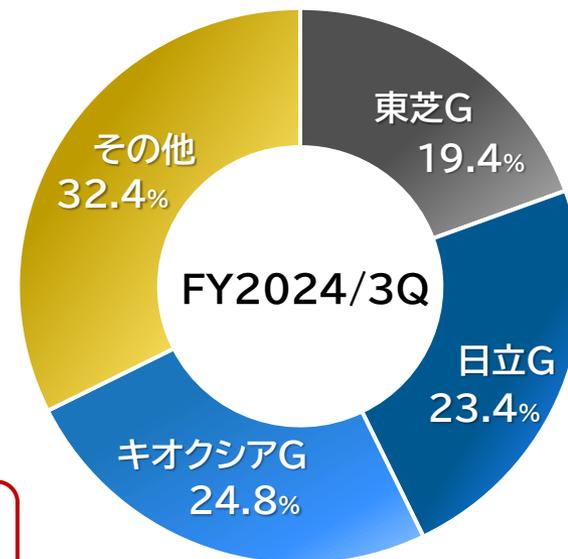
日立Gが伸長 (10.3%増加)  
(前年同四半期比)

その他取引先も大幅増 (25.2%増加)  
(前年同四半期比)

売上高(取引先別) (単位:百万円)



売上比率(取引先別)



- ★ 生産調整が終了し、受注も増加しているが本格的な売上計上は来月以降の見通し
- ★★ 2Q同様に既存顧客より受注した大型開発案件や新規取引を開始したアマノ株式会社からの受注が寄与し、その他取引先の売上が伸長

(注) 2024年9月期 第3四半期より連結決算に移行しております。  
2023年11月期は非連結の実績を記載しています。

## (全体)主要取引先動向

(2024年10月15日現在)

円安、原材料高騰、人材不足などによる影響は懸念されますが、国内経済は好調を維持しています。半導体市場は旺盛なAI関連投資が牽引し再拡大する見通しです。設備投資は持ち直しの傾向が見えており、ソフトウェア投資は増加傾向です。このように、当社グループを取り巻く事業環境は順調に推移する見込みです。一方、地政学的リスクや物価上昇、金融資本市場の変動等の影響には十分注意が必要です。

### 東芝G

新体制に移行し策定された「東芝再興計画」の最初の四半期決算を迎え、業績は順調に推移、好調なスタートとなりました。エネルギーや社会インフラ分野を中心に当社グループへの引き合いも順調に回復傾向です。

### 日立G

ITサービスを担う「デジタルシステム&サービス」セグメントにおいては増収・増益で推移しています。生成AIをはじめ次の成長に向けた投資も推進する見通しであり、当社グループへの引合いも増加しております。

### キオクシアG

需給バランスの改善やフラッシュメモリ需要の回復により業績は好調に推移しています。データセンターやAIの普及によるフラッシュメモリ市場の中長期的な成長とそれに伴う業績の改善が期待されます。また、北上工場の第2製造棟の建屋が完成し、2025年秋の稼働開始に向けて、当社グループへの引き合いの増加が期待されます。

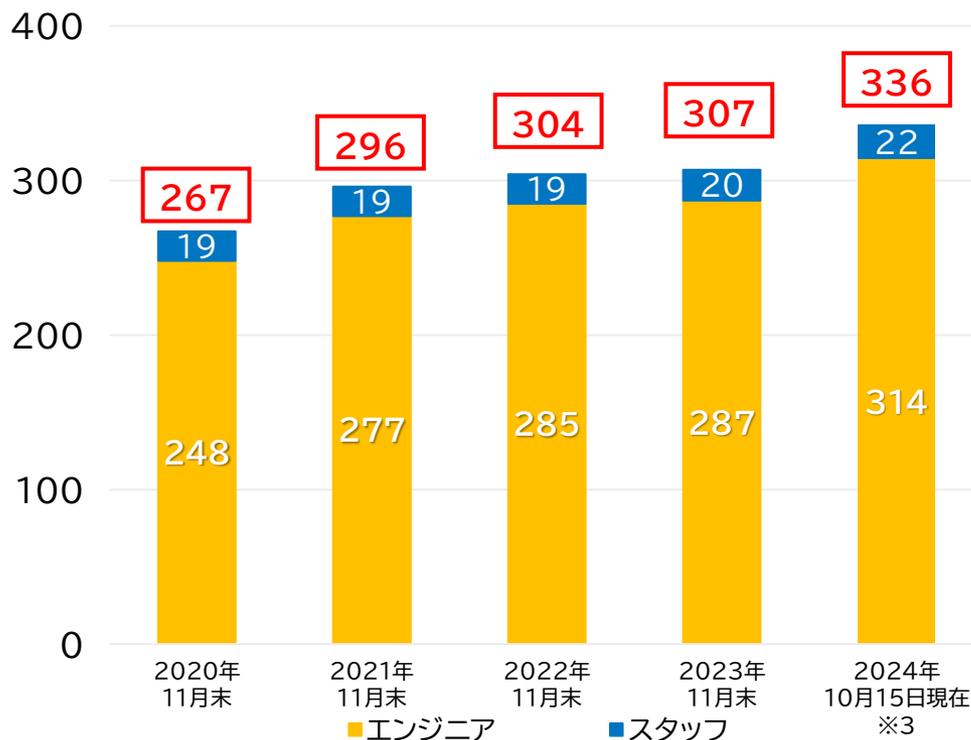
### その他

当社グループの主要取引先大手3グループ以外の顧客からの引き合いは、好調に推移しています。引き続きエンジニアリソースの確保を強化し、お客様の要求に応じてまいります。

## 年間目標※1は前倒しで達成 子会社設立と中途採用強化により 即戦力人材が順調に増加

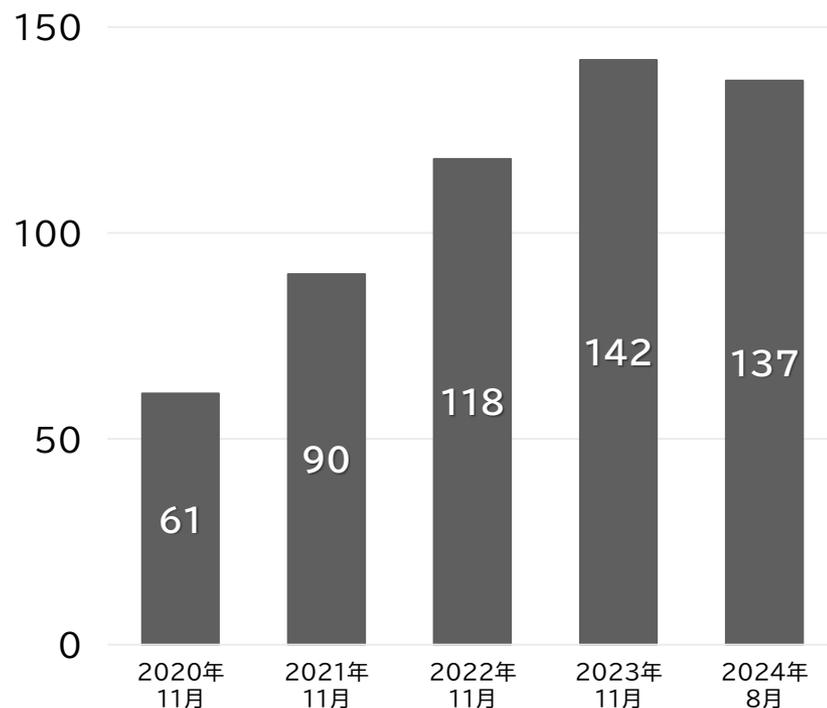
(単位:人数)

### 従業員数 推移



(単位:件数)

### BP(※2)発注件数 推移



※1 決算期変更前に設定した年間目標は、2024年11月期 335名。

※2 BP…ビジネスパートナー。業務委託等の形態で当社業務に従事するエンジニア

※3 ティアンドエスグループ全体

# 損益計算書( FY2024/3Q )

## 損益計算書( FY2024/3Q )

| 単位:千円      | FY2023/3Q<br>(単体・非連結) | FY2024/3Q<br>(連結)  | 増減額     | 増減率   |
|------------|-----------------------|--|---------|-------|
| 売上高        | 2,520,546             |  2,644,378 | 123,832 | 4.9%  |
| 売上原価       | 1,743,691             | 1,868,178  | 124,486 | 7.1%  |
| 売上総利益      | 776,854               | 776,200  | △653    | △0.1% |
| 販売費及び一般管理費 | 315,654               | 314,839  | △814    | △0.3% |
| 営業利益       | 461,200               |  461,361   | 160     | 0.0%  |
| (営業利益率)    | (18.3%)               | (17.4%)  |         |       |
| 経常利益       | 465,913               | 461,814  | △4,098  | △0.9% |
| (経常利益率)    | (18.5%)               | (17.5%)  |         |       |
| 四半期純利益     | 326,037               | 317,117  | △8,920  | △2.7% |
| (四半期純利益率)  | (12.9%)               | (12.0%)  |         |       |

(注) 2024年9月期 第3四半期より連結決算に移行しております。  
2023年11月期は非連結の実績を記載しています。  
増減額、増減率は非連結と連結を比較して算出しています。

## 貸借対照表( FY2024/3Q )

| 単位:千円   | FY2023<br>(単体・非連結) | FY2024/3Q<br>(連結) | 増減      |
|---------|--------------------|-------------------|---------|
| 流動資産    | 2,452,145          | 2,749,168         | 297,022 |
| 固定資産    | 164,315            | 178,583           | 14,267  |
| 資産合計    | 2,616,461          | 2,927,751         | 311,289 |
| 流動負債    | 395,820            | 435,891           | 40,070  |
| 固定負債    | 57,392             | 60,289            | 2,897   |
| 負債合計    | 453,212            | 496,180           | 42,967  |
| 株主資本合計  | 2,163,249          | 2,431,571         | 268,321 |
| 純資産合計   | 2,163,249          | 2,431,571         | 268,321 |
| 負債純資産合計 | 2,616,461          | 2,927,751         | 311,289 |

(注) 2024年9月期 第3四半期より連結決算に移行しております。  
2023年11月期は非連結の実績を記載しています。  
増減は非連結と連結を比較して算出しています。

# トピックス

---

エクステージ社(埼玉県久喜市)の株式を取得し、ティアンドエスグループの子会社として、グループインに向けた交渉を開始しました。



エクステージ社とはすでに半導体分野でのシステム開発に関する協業を進めており、同分野を中心に、リソースの拡充とビジネス機会の拡大を図っていきます。

詳細は、本日10月15日付の適時開示「エクステージ株式会社の株式取得(子会社化)に向けた基本合意書締結に関するお知らせ」をご覧ください。

# 業績予想進捗率

---

2024年9月期 3Q現在

## 3Q時点で計画通りに進捗中

決算期変更により2024年9月期は**10ヶ月の変則決算**

| 単位:百万円     | 2024年9月期<br>(連結・予想) | 2024年9月期<br>第3四半期(実績) | 進捗率(%) |
|------------|---------------------|-----------------------|--------|
| 売上高        | 3,142               | 2,644                 | 84.2%  |
| 営業利益       | 588                 | 461                   | 78.5%  |
| 経常利益       | 589                 | 461                   | 78.4%  |
| 当期(四半期)純利益 | 401                 | 317                   | 79.1%  |

### 全社

既存顧客からの開発案件や新規取引先からの引き合いが堅調に推移し、エンジニアの高稼働率が継続。子会社の設立や中途採用の強化により即戦力人材が増加。年間の人員計画を前倒しで達成。グループ内の人材活用が進み、順次売上への寄与が期待される。技術者リソースを補うためのBP利用が減少に転じたことにより、利益率の改善も進む見通し。

### システム開発 事業本部

主要取引先からの継続案件を中心に堅調に推移する見通し。主要取引先からの新規システム開発案件の引き合いが多数あり、来期以降への寄与も期待。中途採用及びBPによるエンジニアリソースを増強し、取りこぼしのないように新規案件獲得をめざす。

### ITサービス 事業本部

各社の生産調整や需要の回復により需給バランスの改善が進み、半導体工場向けのITサービスは安定的に稼働。工場における運用・保守サービスに係るエンジニア人材の供給は引き続き継続する見通し。新卒採用、中途採用を強化し人材の適性配置を推進することで、新たな事業展開を見込んだ適切な担い手の確保と育成をめざす。

### 先進技術 事業本部

当上期からの流れを受け継ぎ、既存取引先での横展開と新規取引先獲得が堅調に進む見通し。今年度の取引先状況改善が追い風となれば、最新AIプロセッサ・画像認識AI・生成AIの各分野でさらなる規模拡大が見込まれる。

# 株主還元

---

## 配当性向は10%を目標とします

### 配当の基本方針

当社は、**将来の成長が見込まれる分野における新しい技術取得への投資を通じて企業価値を向上させる**ことを経営の重要課題と位置付け、これを実現することが株主に対する利益還元であると考えております。利益配分につきましては、企業価値向上を実現するために必要な内部留保の確保を優先しつつ、業績を考慮した適切な配当について継続して実施していくことを基本方針としております。

2024年9月期の配当につきましては、上記方針に沿って配当性向10%程度の水準を目途に実施することに加え、当社グループが2024年6月1日付で持株会社体制に移行したことを記念し、1株当たり1円00銭の記念配当を実施いたします。これにより、期末配当金は1株当たり8円00銭(普通配当7円00銭、記念配当1円00銭)となる予定です。

(本件は2024年12月下旬開催予定の第9回定時株主総会に付議し、正式に決定する予定です。)

2024年9月期の財務指標は以下のとおりです。

|                  | 1株あたり配当金                             | 配当性向  | 株主資本配当率<br>(DOE) |
|------------------|--------------------------------------|-------|------------------|
| 2023年11月期        | 6円55銭                                | 10.5% | 2.5%             |
| 2024年9月期<br>(予想) | 8円00銭<br>内訳：普通配当 7円00銭<br>記念配当 1円00銭 | 15.1% | 2.6%             |

## お問い合わせ先

ティアンドエスグループ株式会社

経営企画IR部

Email / [pr@tecsvc.co.jp](mailto:pr@tecsvc.co.jp)

URL / <https://www.tecsvc.co.jp/>

本資料に掲載されている情報には、将来の見通しに関するものが含まれています。これらの情報については、現時点で入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その実現や将来の業績を保証するものではありません。経済状況の変化や一般的な業界ならびに顧客ニーズの変化、法規制の変更等、様々な要因によって当該予想と大きく異なる可能性があります。今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合において、本資料に含まれる将来に関するいかなる情報についても、更新又は改訂を行う義務を負うものではありません。